

## 主要農作物の生育・出荷状況

平成29年7月31日現在  
南会津農林事務所農業振興普及部

作物名	生育・出荷状況
作物	<p><b>【水稻】</b> ○作柄判定ほ(7/15調査)では、草丈はやや短く、茎数は平年並～やや少ない。出穂は平年並～やや早い見込み。 ○目立った病害虫発生は見られない。なお、無人航空機によるいもち病防除(7月上旬～)や斑点米カメムシ類防除(8月上旬～)が行われている。 ○難防除雑草(オモダカ、クログワイ等)や広葉雑草、ノビエ等の残草が散見されている。</p> <p><b>【そば】</b> ○夏そばは、7月下旬に刈取作業が行われた。 ○秋そばは、7月中旬頃から播種作業が進められているが、降雨が続いているため作業に遅れがみられる。</p> <p><b>【大豆】</b> ○生育は良好で、中耕培土の作業は終了している。 ○一部に、湿害により葉が黄化しているほ場が見られる。</p>
野菜	<p><b>【トマト】</b> ○7/10から選果場が稼働し、出荷が開始された。定植時期の遅れから、出荷開始が平年より遅くなったほ場が多い。大雨や曇天等の影響で草勢低下しているほ場が散見される。 ○病害は、灰色かび病の発生が多く、一部ほ場で葉かび病が発生している。害虫の発生は少ないが、一部ほ場でアブラムシ類、アザミウマ類、オオタバコガ、ヨトウムシ類が散見される。</p> <p><b>【アスパラガス】</b> ○露地栽培では7月中旬頃から夏芽の出荷を迎えている。曇天等の影響により萌芽がやや少ないほ場が見受けられる。 ○一部ほ場でアザミウマ類、ヨトウムシ類の発生が見られる。露地栽培では7月以降の降雨により、防除や被害茎除去等の対策が遅れたほ場で茎枯病の拡大が見られる。</p>
花き	<p><b>【リンドウ】</b> ○6月上中旬は5月上旬並みの低温で推移したが、7月に入ると気温が高くなり、生育も進んだ。早生の開花は平年より5日程度の遅れになる見込み。 ○葉枯病は下葉で発生し、降雨の影響で一部上位葉まで拡大している。また、花弁に水が溜まったことにより、出荷先で灰色かび病も見られている。</p> <p><b>【カスミソウ】</b> ○季咲きの出荷はほぼ終了し、4月に定植した新植株は7月下旬から出荷となる見込み。新植株の定植準備が随時行われており、7/27が最後の苗納品。 ○害虫の発生は少ないが、ヨトウムシ類の発生がみられる。</p>

果 樹	<p><b>【リンゴ】</b></p> <p>○果実肥大状況は、生育日数による比較では概ね平年並みである。ただし、一部で肥大が遅れがみられる。</p> <p>○作業の進捗状況は、多くの生産者が仕上げ摘果を終えており、大幅な遅れは見られていない。</p> <p>○とくに目立った病害虫の発生はみられていない。</p>
畜 産	<p><b>【飼料作物】</b></p> <p>○管内牧草の2番草の収穫は、7月中旬から下旬にかけてほぼ終了となるが、天候いかんで8月にずれ込むことも。収量・品質ともに平年並み。</p>